

京都府 セーフコミュニティ ニュース

～地域力による安心・安全なまちづくりを目指して～
第 14 号(平成23年3月28日発行)

京都府府民生活部
安心・安全まちづくり推進課
TEL075-414-4367 FAX075-414-4255
E-mail:anshinmachi@pref.kyoto.lg.jp

「京都府わがまち安全推進員養成講座」を開催!!

3月24日(木)、京都テルサ(京都市南区)において、地域防犯活動の拠点として平成20年度から取組を進めている府民協働防犯ステーションで、地域の自主的な防犯活動を主導していただく「京都府わがまち安全推進員」(地域防犯活動のコーディネーター)を養成するための講座を今年も開催しました。

当日は、府内各地で地域の防犯ボランティアリーダーとして活躍されている56名の方に参加いただき、警察からは「京都府の犯罪情勢と防犯ボランティア活動について」の説明、東京未来大学こども心理学部出口保行教授からは「地域を巻き込んだ効果的な防犯活動について～攻める防犯という考え方～」についての御講演をいただきました。

出口教授は、各地の少年鑑別所や宮城刑務所等で、犯罪者を心理学的に分析する資質鑑別に従事された後、法務省法務総合研究所研究部室長研究官を最後に退官し、2007年東京未来大学教授に就任。内閣府及び法務省のコーディネーター・講師、東京都足立区の防犯専門アドバイザーや政策評価委員長等の多数の公職をこなすかわら、全国各地において、講演活動も展開されるほか、多数テレビ出演もされています。当日は、「攻める防犯」という考え方に基づく地域での効果的な防犯活動について、大変わかりやすくかつ楽しく御講演され、地域防犯におけるボランティアの皆さんの活動の大切さを説明してくださいました。

この後、2つのステーションの代表者からは、「きすなマップ」作成や、府が進める「ヒヤリ・ハット情報活用推進システム」モデル地域としての取組等先進的な事例を御紹介いただくなど、参加者にとっては、地域の防犯力を高めていただく上で、非常に有意義な半日となりました。



東京未来大学こども心理学部教授
出口保行氏



山科駅前セーフティネット
幸田幸雄氏



稲荷あんしん・あんぜんステーション
林和宏氏

京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画、アクションプランを策定!!

京都府では、「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり条例」に基づく「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画」を平成17年に策定し、地域防犯力の向上や犯罪被害者等支援の施策を進めてきましたが、計画期間の満了を迎えることから、一層の犯罪抑止を目指して、平成27年までに犯罪認知件数を3万件台半ばまで抑止することを基本目標とし、地域における防犯活動の推進や子どもの安全確保、少年非行問題への対応等を施策展開の方向に据えた、平成23年度から27年度までを計画期間とする新たな「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画」を策定しました。

【構成】

- 第1章 計画の基本的な考え方(計画策定の背景、計画の位置付け、計画期間)
 - 第2章 安心・安全なまちづくりの推進(基本目標、施策展開の視点、施策展開の方向)
 - 第3章 犯罪被害者等の支援(基本目標、施策展開の視点、施策展開の方向)
 - 第4章 計画の推進(推進体制の整備、計画の具体化)
- 参考資料(検討委員会委員名簿、検討経過、犯罪情勢)

詳しくは、以下のアドレスを御覧ください。

<http://www.pref.kyoto.jp/anshin/resources/1292805489358.pdf>

また、この計画の達成に向けて、「安心・安全なコミュニティづくり」、「少年非行総合対策」、「犯罪被害者等への支援」を施策の基本に据え、多様な主体の参画促進や地域防犯環境構築のための設備整備支援制度、少年非行問題対策会議(仮称)の設置等具体的な施策を盛り込んだ「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくりアクションプラン」を策定しました。

詳しくは、以下のアドレスを御覧ください。

<http://www.pref.kyoto.jp/anshin/resources/1292805489297.pdf>

京都府自転車安全利用促進計画を策定!!

京都府では、「京都府自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づく「自転車安全利用促進計画」を平成20年に策定し、自転車事故防止に向けた施策を進めてきましたが、計画期間の満了を迎えることから、一層の自転車事故防止を目指して、平成27年までに年間自転車事故発生件数2,300件以下を目標とし、自転車交通安全教育の充実や地域と連携した効果的な取組の実施等を盛り込んだ、平成23年度から27年度までを計画期間とする新たな「京都府自転車安全利用促進計画」を策定しました。

【構成】

計画の基本的な考え方

第1章 自転車に係る交通事故の発生状況等

第2章 自転車の安全な利用の促進に関する施策

1 計画の目標

2 自転車交通安全教育

3 広報・啓発活動

4 自転車利用環境の整備

5 その他自転車の安全な利用の促進に関する施策

参考資料（検討委員会委員名簿、検討経過）

詳しくは、以下のアドレスを御覧ください。

<http://www.pref.kyoto.jp/kotsuanzen/resources/1299214848412.pdf>

第9次京都府交通安全計画（中間案）パブコメ実施中!!

京都府では、府域における陸上交通の安全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため平成23年度から27年度を計画期間とする「第9次京都府交通安全計画」の策定を進めており、この中間案について、3月18日（金）から4月15日（金）までの間、京都府府民意見提出手続（パブリックコメント）により、広く府民の皆さまからの御意見を募集しています。

詳しくは、以下のアドレスを御覧ください。

<http://www.pref.kyoto.jp/kotsuanzen/resources/1299808940687.html>

パンフレット「安心・安全のまちづくり セーフコミュニティ」を作成!!



セーフコミュニティを紹介する冊子として、これまでは、「京都府版安心・安全のまちづくり セーフコミュニティの手引き」を活用してきましたが、この度、新たに、パンフレット「安心・安全のまちづくり セーフコミュニティ」を作成しました。

従来の手引きが、セーフコミュニティの概念や期待される効果、WHOの認証を得るための6つの指標などに加え、亀岡市やモデル地区の篠町自治会の具体的な取組など盛りだくさんの内容であったのに対し、新たなパンフレットは、セーフコミュニティの認証指標とそれに対応する亀岡市での取組事例等や京都府の支援内容等中身を絞るとともに、ボリュームも抑えることにより、より見やすくわかりやすいものとしています。

パンフレット「安心・安全のまちづくり セーフコミュニティ」

【構成】

1 セーフコミュニティの概要について

2 セーフコミュニティ活動が対象とする外傷について

3 全国の不慮の事故の現状及び京都府・亀岡市の外傷発生状況等について

4 セーフコミュニティ認証指標にもとづく取組について

5 セーフコミュニティ活動による効果について

6 セーフコミュニティの取組に対する京都府の支援について

今後、各種安心・安全等に関する説明会や、自治体等からの視察対応時などに活用しながら、セーフコミュニティの普及に努めていくこととしています。

◎平成23年度も、小学生の登下校時の見守り活動に対してボランティア保険加入や資機材の支援等を行う「子ども・地域の安心・安全活動支援事業」、犯罪の芽を摘むことを目的として地域の落書き消しなどに対して資機材の提供等を行う「『割れ窓理論』実践運動」、自転車の安全な利用の促進に関して交通安全教育等を行っていただくボランティア「自転車安全利用推進員」の募集等、府民の皆さんによる安心・安全な取組を進めてまいります。
詳しくは、次号以降で御紹介します。